

# 札幌市都市計画マスタープラン 素案への市民意見の概要

## 意見募集の概要

意見募集期間 平成15年10月1日～10月31日

意見募集方法 素案(本編・概要版)の配付及びホームページへの掲載により市民意見を募集

募集結果概要 意見数 延べ274件

## 2 都市づくりの理念・原則と基本目標

	意見要旨	代表意見
都市づくりの理念	「持続可能なコンパクト・シティへの再構築」という考え方に賛同。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考え方が明解であり、これからの都市計画に欠かせない視点であることがわかった。</li> <li>・「コンパクト」というキーワードは、これから札幌が目指す都市のあり方として充分説得性のある言葉として市民に浸透していくものとする。</li> <li>・都市の拡大、新規基盤整備よりも中の充実という考え方は良い。</li> <li>・今は野放図に広がりすぎて、街の中心が寂れる、移動距離が長くなるなどデメリットが目立つ。</li> <li>・都市は人口が集積することで魅力が高まる。</li> <li>・限りある資源の活用が大切である。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
	機能の集積、高密度化は必要だが、過密化による課題への対応も必要。一方、過疎化する地域も出てくるのではないかと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機能の集積に付随して起こる過密化、過疎化にも配慮してほしい。</li> <li>・コンパクトを語るのであれば市街地縁辺部の考え方も語るべきである。</li> <li>・「郊外の開発は認めない」くらい書いてほしい。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
	市街地の縮小を目指すのか、など、コンパクトという語の解釈は多様であるため、コンパクト・シティの考え方を、よりわかりやすく説明する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体例を示して、コンパクトとはどのような状態をあらわすのか。</li> <li>・コンパクトにするためのメリットを提示してほしい。</li> <li>・コンパクトの受け取り方は千差万別である。誤解を招きそう。</li> <li>・コンパクトシティにおけるライフスタイルを提示することも必要では。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
	機能の複合とはどのようなものか。異種の機能相互の不調和も心配されるのではないかと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際には住商・住工など居住環境として心配される要素に対してどのような方向で「機能の複合・集積」をするのか具体的に示してほしい。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
都市づくりの原則	5つの原則の内容及び整理の仕方に賛同。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5つの原則をよくまとめたなと感じ入ります。</li> <li>・市民の視点に立った考え方が反映されており、魅力ある都市づくりへの意欲が感じられる。</li> </ul>
	防災面での配慮に関する記述を充実すべき。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幹線道路沿道の整備に延焼防止、避難経路、救助活動経路など都市防災の観点も必要だと思います。</li> <li>・防災上課題のある地区の改善が必要です。</li> </ul>
	住民の安全確保もこれからの重要課題であり、その視点を加えるべき。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・治安の維持も重要。警察だけの問題ではないと思う。都市づくりの面からも何か訴えることはできないか。</li> <li>・住民の安全性確保に対する具体的な記述をしてほしい。</li> </ul>
	冬期の生活機能の確保が重要であることを明示すべき(渋滞緩和や歩行者環境の向上など)。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・凍上道路の解消なくして、「一人ひとりの暮らしの質を支えます」は実現できないのではないかと。</li> <li>・冬季における凍上歩行対策への取り組み姿勢を打ち出してほしい。</li> <li>・さらに進んだ除雪、凍結路面対策による歩車道空間の確保をしてほしい。</li> <li>・冬期間の交通渋滞の緩和も大事である。</li> </ul>
	広域的視点、訪問者の視点から、集客交流の重要性について触れるべき。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京と同じビル街では世界から観光客がこない。</li> <li>・札幌を国際観光都市という視点で、世界的な要請(都市美など)についても言及すべきではないか。</li> <li>・観光客の立場から見たマスタープランという視点が加わると、観光都市札幌のマスタープランにふさわしいのではないかと。</li> <li>・日本中、外国中から一度は見たいと思わせる街に。</li> <li>・人の集まる場をもっと市民が利用しやすくする。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
	既存資源の有効活用に関する記述を充実すべき(多様なオープンスペースの利活用など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の施設を有効活用することについて札幌市としてもっと配慮していくべきと思う。</li> </ul>
都市づくりの基本目標	「地域の取り組みの連鎖」について、どのように取り組みを展開するかのイメージがわかりにくい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのようなことがイメージとして浮かんでこない。</li> <li>・地域の状況により格差が生じないか。</li> <li>・地域の取り組みと都市構造の維持・強化のつながりをわかりやすくしてほしい。</li> <li>・地域的視点のイメージがあいまいなせいか、全市の都市構造と市民の身近な生活空間とのつながりがわかりにくい。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
その他	理念・原則・基本目標を各主体で共有化するための取り組みを進めることが必要。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実現のためには一人ひとりが動くことが大事。意識改革についてどう考えるか示すべきである。</li> <li>・企業・市民への「拡大抑制」に対する理解を広げるための方法を検討すべきではないか。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

### 3 部門別の取り組みの方針

		意見要旨	代表意見
土地利用	市街地の範囲	市街化区域の拡大をやめるべき。	・維持管理費の増大につながるため、市街化区域の拡大はやめるべきではないか。 ・地震や水害から守るため、これ以上の市街化区域を増加すべきではない。 ・市街地の範囲、機能等は掲載のとおりと思います。 ・市街化区域の範囲をこれ以上広げないという方針は評価できると思う。 など
		市街化区域の拡大を望む。	・市街化区域の拡大を望みます。 など
	市街地の土地利用	商業地の考え方を加えてほしい。	・土地利用の考え方の中に、商業利用の考えがもう少し言及できないか。
		市街地の外の土地利用についてより具体的な方向を示すべき。	・これからの居住区のあり方として、都市的な市街地での生活、田園的な郊外住宅地での生活を望む人々に二分される方向に進むのでは。都市内の充実と都市の外の特質を生かしたまちづくりについて検討を。 など
交通	公共交通ネットワーク	公共交通を基軸としたネットワークを構築するという考え方に賛同。	・これからの高齢化社会を考えると交通の基本方針の一番目が公共交通であることに賛成。 ・これからは地下鉄・JRを中心とした都市形成が必要。 など
		公共交通ネットワークを充実させるため各種施策を推進していくべきである(乗り換え容易にするなど)。	・巡回型の交通機関(東京の山手線のようなもの)を考えるべきではないか。 ・公共交通の環状化をはかることと、乗換えを容易にすることが重要。 ・バス利用のしやすさが重要(バス停の統合、行き先の明確化など) など
	道路ネットワーク	渋滞緩和のために道路ネットワークの充実が必要。	・渋滞緩和のための道路整備を行なうべき
		新たな道路の整備が困難であれば、既存道路の拡幅や一方通行化などの対策を検討してはどうか。	・新たな道路建設が難しいのであれば住宅街を通り抜ける一方通行道路を検討してはどうでしょう。
		渋滞対策は、路上駐車対策や公共交通への誘導などソフト施策で行うべき。	・道路整備は車の増加を助長するのでやめるべきではないか。渋滞対策は路上駐車対策、公共交通の誘導で行う。 ・一人での車の利用を禁止してはどうか。
その他	交通ネットワークの考え方の中で物流交通について内容を充実すべきではないか。	・ネットワークの考えの中で物流の視点も言及できないか。	
	その他、具体的な提案意見(特定地区のネットワーク改善など)。	・東豊線を延長してみてもどうか。 ・地下鉄麻生駅とJRの地下道接続による周辺の開発を望む。 ・第二環状線の整備や豊平川の橋の増設を検討してはどうか。 ・主要道の交差はロータリー式か立体化が望ましい。	
みどり	みどりの配置	市民に親しまれてきた貴重なみどりの保全対策を検討すべき。	・創成川沿いのヤナギ、中島公園のヤナギ、大通、円山など現存する貴重な緑の保全の対策を検討してほしい。
	みどりの質的充実	まちなかのみどりを積極的に充実することが必要。	・市街地内の緑地をもっと増やしてほしい。 ・ビルの屋上の緑化についての助成の充実により、環境改善を図ってはどうか。
		地球温暖化への対応や、適切な水循環の確保の観点からも積極的なみどりの創出が必要。	・舗装やコンクリート地の急増が、雨の吸収や温度・湿度の調節を妨げている。みどりの配置維持が重要である。
		誰もが利用しやすい身近な公園の確保が重要。	・身近にある公園の現状があまりよくありません。(遊具が古い、砂場が非衛生的など)
	その他	みどりの充実に向け、より積極的な取り組みが必要。	・企業や個人の遊休地を、市や道が買収して緑の環境保全を考えるとときである。 ・緑地創出の誘導は非常にコストがかかることであるが大いに推進すべきことである。 ・緑地の伐採等を伴う宅地開発は行政として不認可すべきである。
その他具体的な意見。		・中高年の登山熱にちなみ、藻岩山、円山、五天山、手稲山などを結ぶ縦走ルートを整備してはどうか。 ・各区にひとつずつ「100年の森」計画をたててはどうか。	
廃棄物処理施設	リサイクル体制の充実やゴミを正しく捨てやすい環境づくりが重要。	・リサイクルのシステムを確立する知恵を多くの専門家や市民と考えることが重要。 ・ごみを正しく捨てやすい環境をつくる必要があります。 ・ごみ減量のための市民への意識づけ、リデュースなどの普及について市としてもっと考えてほしい。	

## 4 都市づくりの力点

	意見要旨	代表意見
全体	力点として抽出された5つのテーマに賛同。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さっぽろの都市づくりのアイデンティティとなる5項目のテーマは大変結構と思います。</li> <li>・魅力と活力ある都市を形成する上で、それぞれ核心をついた課題設定であると評価する。</li> </ul>
都心の再生・再構築	都心の再生・再構築を積極的に進めることに賛同	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都心の再生・再構築は重要である。</li> </ul>
	都心以外に住む市民への配慮も必要。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都心を変えれば札幌も変わるという点もあると思うが、都心以外に住む市民は寂しくなります。</li> <li>・南から西にかけて山があり、北に海が近く、東に大きな川があるという立地条件が札幌の最大の魅力であり都心が変わってもなんら変わらない。</li> </ul>
	駅前通の地下歩行空間を建設すべき。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぜひ大通りまで接続してほしい。</li> <li>・駅前通は歩道がせまい。ぜひ快適な歩行空間(できれば地下道)をつくってほしい。</li> </ul>
	駅前通の地下歩行空間は建設すべきでない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前通の地下歩道建設はしないほうが良い。樹木を伐採すると冬のイルミネーションなど観光に損失。南北線の利用にも悪影響。</li> </ul>
	都心居住を促進すべき。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都心の空き室、空きビルをマンションに改修して中心部を活性化しては。</li> <li>・都心の居住空間を整備しては。</li> </ul>
	歩行者に配慮し、公共交通を重視した都心交通対策を進めてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都心部の車の乗り入れを規制し、公共交通の利用を促進すべき。</li> </ul>
	札幌の顔としてふさわしい、魅力ある空間づくりを進める必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都心は札幌の顔となる場であるので、高層化と美化をひとつに考えてほしい。</li> <li>・中心街を美しい特性ある緑の街にしたい。</li> </ul>
居住環境	多様な住要求に対応するとともに、地区の特性に応じて、総合的な居住環境の向上策を展開すべき。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物の高さや色彩などを統一したらよいと思う。専門家に規定を作成してもらい、違反する時は強制力を持ったらどうか。</li> </ul>
	すべての住宅市街地の環境を向上させる必要はなく、何も手当てしない地域があってもよいのではないか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、札幌市が抱えている居住地全てを救済し、質の高いものすることが果たして是であるかと感じています。</li> </ul>
	建築物の高層化を進め、公園や駐車場の確保、防災性の向上を図ることが必要。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化した市営住宅などを取り壊し、高層化を図る。防災上必要な施設をつくり、駐車場のスペースも生むことができる。</li> </ul>
	マンションの建設にともなう問題が生じていることに注意して都市づくりを進めることが重要。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地下鉄駅周辺のマンション建設による問題が多く出されているので、この点に注意して都市づくりをすべき。</li> <li>・高層マンションが建ち眺望が悪くなるなど住民から見ると何とかしてほしいのに都市計画法上は対処ができないことがある。解決の方向性を示した市民の矛盾解決型マスタープランであってほしい。</li> </ul>
居住環境 市街地の外の自然	農地を全面的に宅地化するのではなく、地域で活用できる家庭菜園を残すことも検討してはどうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・60歳、70歳の人口の割合が多くなる中で、家庭菜園のできる場所が近所があれば地域の人は嬉々として活用すると思う。</li> </ul>
	市街地内とは差別化された特色ある住宅地があってもよいのではないか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居住空間としてまだまだ文化的にも未成熟な面が強い既存住宅地に替わる新しい発想を持った住宅地の創出を、市街化調整区域内の大規模開発で実現させるような市街地開発とのすみわけが今求められていると思います。</li> </ul>
オープンスペース・ネットワーク	サイクリングロードの充実により、環境負荷の低減や、市民の健康増進といった効果が期待される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクリングロードを都心から郊外に整備すれば通勤に自転車を利用する人が増え環境に対する負荷の低減、市民の健康増進という面からも有効ではないだろうか。</li> </ul>
	各拠点の防災施設としても機能することを考えて、オープンスペースのネットワークを考えることが必要。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みどりのコリドーは各拠点の防災施設としても機能するので弱者が多いポイント、居住ゾーン、主拠点を結ぶべきである。</li> </ul>
	地域の河川的环境整備をすすめ、住民が憩う川辺を創出してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創成川のアンダーパスは良策だが、北区の創成川も何とかする必要がある。</li> </ul>
	塩漬けになっている未利用地を緑地や公共用地などに有効に活用することを検討してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不良債権ですすまない塩漬けの市街地内未利用地を先行取得または等価交換、民間事業の誘導的支援など、積極的に緑地や公共用地などに活用してほしいと思います。</li> </ul>

## 5 取り組みを支えるしくみ

	意見要旨	代表意見
都市づくりにおける「協働」	「協働」のしくみの充実という基本的な考え方について賛同。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民、企業、行政の協働のしくみは賛成です。</li> <li>・基本的には賛成ですが、市民や企業がどれだけ都市計画にかかわる余裕があるか心配なところではある。</li> <li>・絵に描いた餅にならないよう、実行が大事である。</li> <li>・何よりもベースになるのがこの「しくみ」の考え方である。</li> <li>・協働の観点として、地域発意から始まる計画・活動づくりは特に賛成です。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
	都市全体を見ながらも、地域の特質をいかして個別に考えていくことが重要。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平面的に発展した札幌市は今後中心地域とそれ以外の地域でそれぞれ違う計画を構築してはどうか。各区単位の暮らしの質を考え、区ごとの格差が出て良い。各区単位で進めたほうがより魅力ある街づくりとなるのではないかと。</li> <li>・これからは札幌市全体が一律に発展するのではなく、地域により格差がでてきて当然である。</li> <li>・現在の地域の状況により、格差がでてきたりしないのでしょうか。</li> <li>・目標系、進め方系とも各区単位で進めたほうが魅力ある街づくりとなるのではないのでしょうか。</li> </ul> <p>など</p>
	協働の取り組みを支援するしくみを充実していく必要がある(住民の取り組みをサポートする機能の充実など)。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップを積極的に支援する取り組みが必要ではないか。</li> <li>・「まちづくりセンター」的なサポート機関を検討していく必要がある。</li> <li>・住民参加の手段について、もっとさまざまなやり方を模索してみることと、行政主導とならないよう、情報を公開していくべき。</li> <li>・行政の持つ都市計画のツールを市民に理解してもらい、その上で協働を進めたほうが良いのではないかと。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
	市民との情報の共有や市民意識の向上が重要である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PRが最も大切でしょう。</li> <li>・計画などをできるだけ市民に知らせることが成功の元であると思う。</li> <li>・市民意識の向上が不可欠と考えます。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
	その他、具体的な施策の提案意見。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見を聞くためのモニター制度を作ってはどうか。</li> <li>・具体的でイメージのわく「スケジュール」をつくるべきではないか。</li> <li>・都市計画の案の作成にあたっては、十分余裕のある説明会や公聴会を開催し、市民の意見を把握し、案に十分反映するための取り組みを、特に充実してほしい。</li> </ul>

### その他(全般的事項)

わかりやすさ、言葉づかい	親しみやすいマスタープランにするため、難しいカタカナ語などを避ける配慮が必要。	・カタカナ横文字が多すぎて都市計画マスタープランに親しむ雰囲気を遠ざけている気がしてなりません。
--------------	---	--